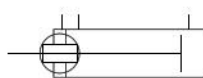


表示記号



仕様

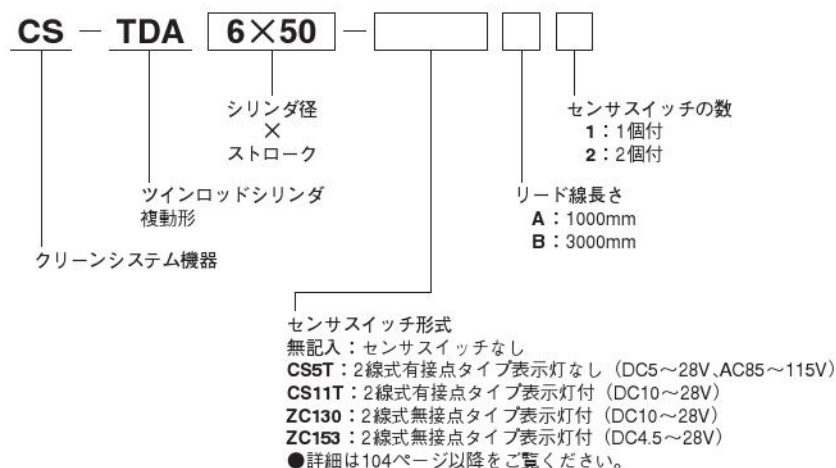
項目	シリンダ径 mm	6
使用流体		空気
取付形式		サイドマウント
使用圧力範囲	MPa [kgf/cm ²]	0.3~0.7 [3.1~7.1]
保証耐圧力	MPa [kgf/cm ²]	1.03 [10.5]
使用温度範囲	℃	0~60
使用速度範囲	mm/s	100~300
クッション		なし
給油		不要
不回転精度		±0.45°
配管接続口径	給排気ポート	M5×0.8
	集塵ポート	M5×0.8

シリンダ径とストローク

径	標準ストローク	製作可能 最大ストローク
6	10、20、30、40、50	70

備考：標準ストロークを超えるストロークについては、納期をお問い合わせください。

注文記号



備考1：ツインロッドシリンダにはセンサスイッチ用マグネットが標準内蔵されています。
2：センサスイッチ1個につき、センサホルダが2個(A面用B面用)添付となります。

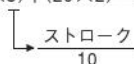
質量

シリンダ径 mm	ゼロストローク質量 ^{注1}	加算質量	
		ストローク10mm毎の加算質量	センサスイッチ1個の質量 ^{注2} CS5T,CS11T,ZC130,ZC153
6	標準仕様	68	12
			A：20 B：50

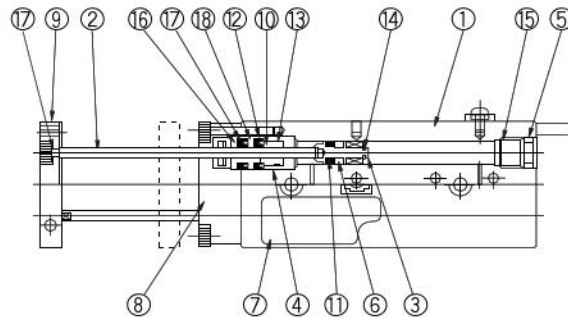
注1：上表は標準ストロークの場合です。

2：センサスイッチのリード線長さは2タイプあります。
A：1000mm、B：3000mm

計算例：標準仕様のシリンダ、シリンダ径20mm、ストローク50mm、
センサスイッチ（ZC130）2個付の質量は、
 $68 + (12 \times 5) + (20 \times 2) = 168\text{g}$



内部構造と各部名称



主要部材質

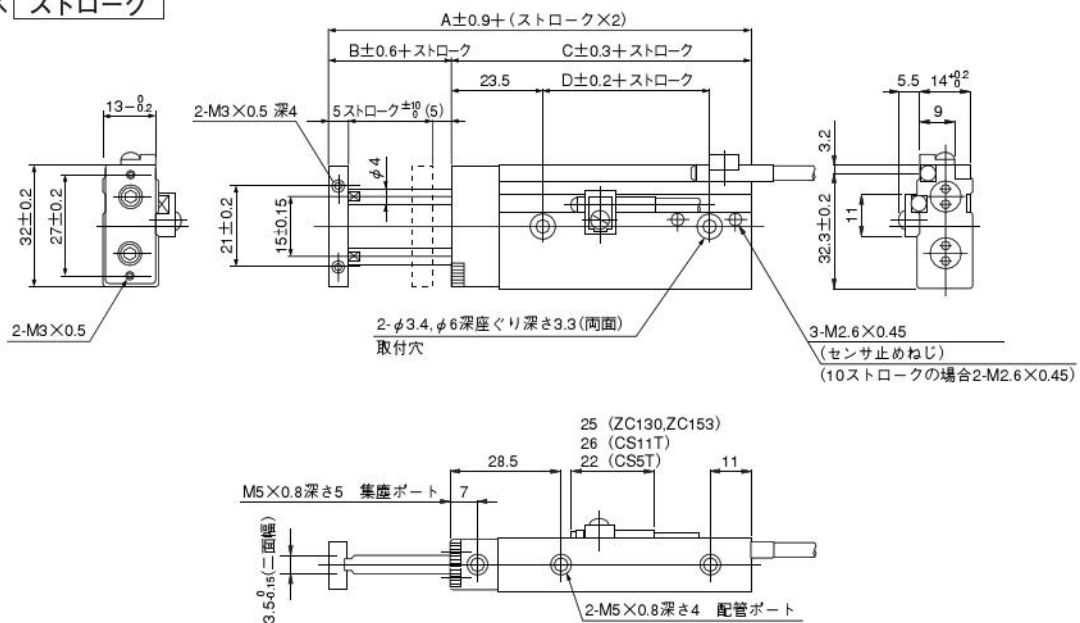
名称	材質
① シリンダ本体	アルミ合金(アルマイト処理)
② ピストン	アルミ合金(クロム酸塩系皮膜処理)
③ カバー	アルミ合金(アルマイト処理)
④ ウェアリング	樹脂
⑤ ピストンロッド	硬鋼(クロムめっき)
⑥ ハウジングガスケット	合成ゴム(NBR)
⑦ ハウジング	アルミ合金(クロム酸塩系皮膜処理)
⑧ シールホルダ	アルミ合金
⑨ ロッドブッシュ	樹脂
⑩ ピストンパッキン	合成ゴム(NBR)
⑪ プラグ	アルミ合金(アルマイト処理)
⑫ マグネット	樹脂マグネット
⑬ E形リング	ステンレス
⑭ 皿座金	硬鋼(ニッケルめっき)
⑮ 先端プレート	軟鋼(ニッケルめっき)
⑯ ロッドパッキン	合成ゴム
⑰ 防塵パッキン	
⑱ プラグガスケット	

使用パッキン一覧

名称	ロッドパッキン	ピストンパッキン	プラグガスケット	ハウジングガスケット	防塵パッキン
径mm	2	2	2	2	2
数	2	2	2	2	2
6	MYR-4	PWP-6	1.5×1.5	1×6	MYR-4

寸法図 (mm)

CS-TDA6X ストローク



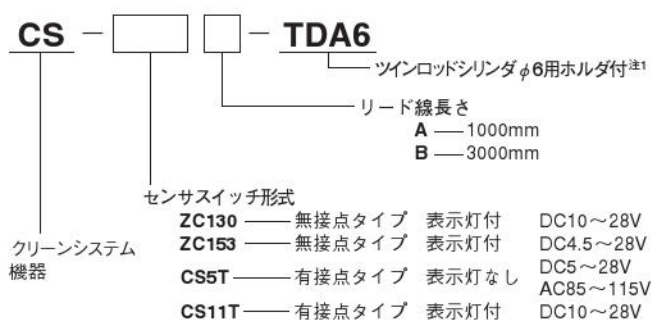
記号	径	A	B	C	D
6		61	10	51	13

注：座ぐり深さは本体最上面からの数値です。

ツインロッドシリンダφ6

センサスイッチ

センサスイッチ注文記号



●センサホルダのみの注文記号

C1-TDA6^{※2}

注1：センサスイッチ1個につき、センサホルダ2個（A・C面用・B面用）添付となります。

2：センサホルダ2個（A・C面用・B面用各1個）にて1セットとなります。

備考：取付面については85ページをご覧ください。

●センサスイッチの詳細は104ページ以降をご覧ください。

センサスイッチの作動範囲・応差・最高感度位置

●作動範囲：ℓ

ピストンが移動してセンサスイッチがONしてから、さらにピストンが同方向に移動して、OFFするまでの範囲をいいます。

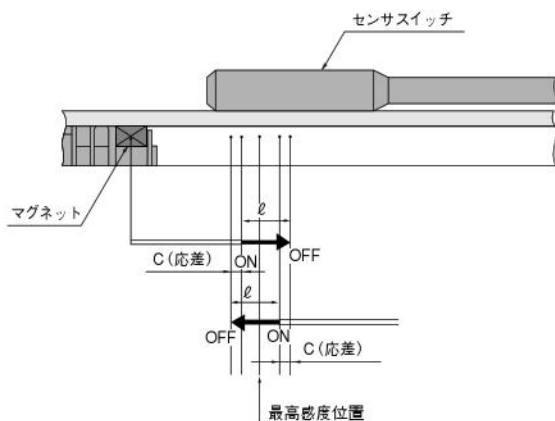
●応差：C

ピストンが移動してセンサスイッチがONした位置から、ピストンを逆方向に移動して、OFFするまでの距離をいいます。

CS5T□			CS11T□			ZC130□, ZC153□		
作動範囲	応差	最高感度位置	作動範囲	応差	最高感度位置	作動範囲	応差	最高感度位置
5~7	1.3以下	7	5~7	1.3以下	10.5	2~3	0.3以下	8.5

注：最高感度位置はリード線の反対側端面からの距離です。

備考：上記は参考値です。

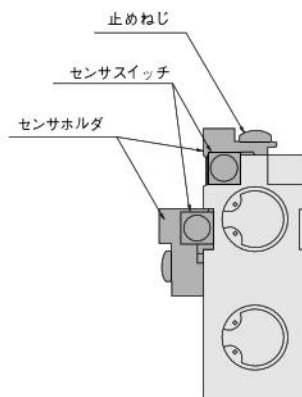


センサスイッチ使用可能最小シリンダストローク

センサスイッチ形式	mm			
	2 個 取 付		2面取付	1個取付
	1 面 取 付			
A面 B面1溝	B面2溝			
CS□T□	40	10	10	10
ZC□□	40	10	10	10

備考：取付面については85ページをご覧ください。

センサスイッチ移動要領

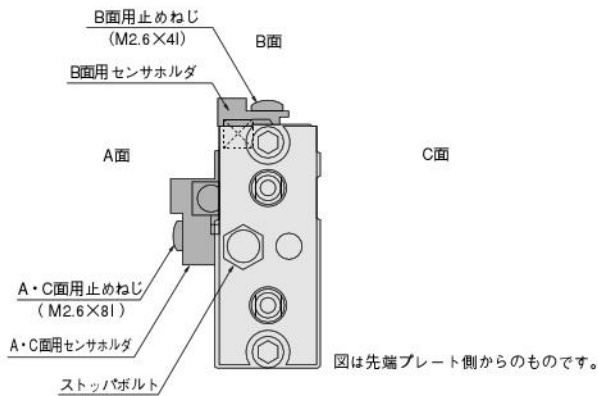


図はエンドプレート側からのものです。

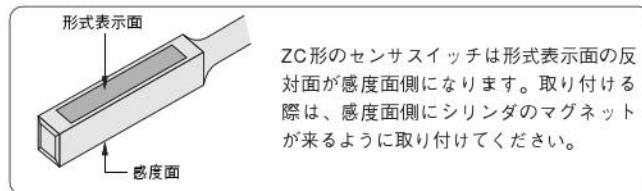
●止めねじをゆるめると、センサスイッチはシリンダの軸方向に自由に移動することができます。

●止めねじの締付トルクは0.3N・m [3kgf・cm] 以下にしてください。

センサスイッチ取付面



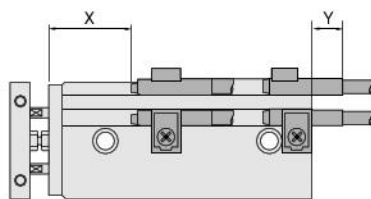
●取付時の注意



- A・B・C面のいずれか1面、もしくは2面に取り付けることによってロッド側及びヘッド側ストローク先端の検出ができます。
- センサスイッチ1個につき、センサホルダ及び止めねじ各2個(A・C面用・B面用各1個)添付となりますので、取付面に応じてご使用ください。

ストロークエンド検出センサスイッチ取付位置

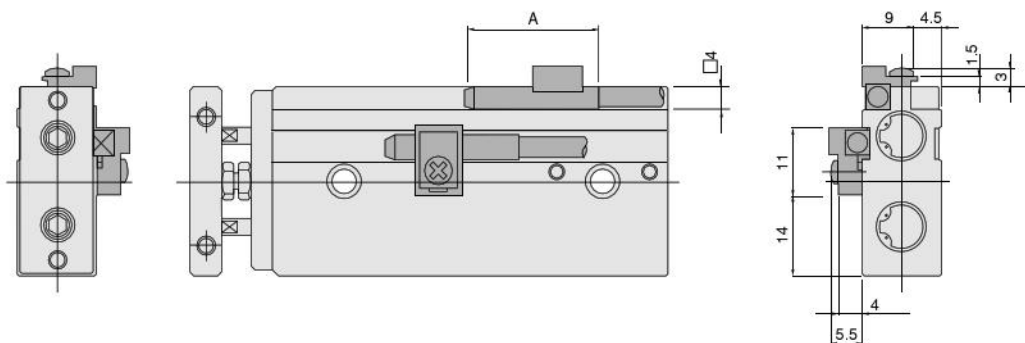
- センサスイッチを図の位置(表中の数値は参考値)に取り付けると、ストロークエンドでマグネットがセンサスイッチの最高感度位置にきます。



取付位置	センサスイッチ形式		
	CS5T□	CS11T□	ZC130□・ZC153□
X	23	19.5	22
Y	6	6.5	8

備考：センサスイッチは取付面に対し形式表示が見える面を上にして取り付けてください。

センサスイッチ寸法図 (mm)



センサスイッチ記号	CS5T□	CS11T□	ZC130□	ZC153□
A	22	26	25	